

平成31年度事業計画書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人ピアサポートセンターひといろの実

1 事業の計画

(1) 「つどいの杜まりも」(地域活動支援センターⅢ型)に関する計画

今まで、精神科病院の長期入院者の方の地域移行に力を入れて取り組んできた。関係機関からも「まりもさん」と呼ばれ親しまれている。今年度もつどいの杜まりもは働く場も提供しているほか、利用者や長期入院者の方、またその退院者の方が安心して過ごせる「居場所・交流の場」の先進的なサロンとして空間を継続していく。

また、法人として新規事業により多くの方が利用から外れたが、継続して長期入院者の方に関わり、関係機関にも働きかけていく中で平均利用人数8名以上を目指していく。

(2) 「相談支援事業所ゆうほどう」に関する計画

【地域移行支援】平成27年3月から現在まで地域移行支援の契約数は30名となった(内現在継続者5名)。平成31年度は、5名の退院を目指し、新規7名の契約を計画。毎月継続的に7名以上の退院支援を進められる環境を整えていく。

【地域定着】現在、9名の支援を実施。今年度もマンパワーの課題あり、現状維持を図っていく。

【計画相談】現在、32名の計画作成を担当している(前年度より-10名)。マンパワーの課題からも新規受け入れは積極的には行わず、現状維持を図っていく。

- ・引き続き、地域移行支援を主軸とした事業所作りを目指していく。
- ・マンパワーの課題を解決するためにも、ピアサポーター等の雇用を目指していく。
- ・地域定着支援では補えない隙間の課題として「自立生活援助」の検討をしていく。
- ・相談支援専門員を増員できるような環境を整えていく。

(3) 「グループホーム社の灯り」に関する計画

平成31年度より体験外泊をされてきた長期入院の方を対象に考えた定員増員について検討。6月中までに定員の変更申請(定員11名:1名増員)を行い、7月中の再編成を目指す。職員配置の課題については継続した課題であり、今年度中に非常勤数名以上と常勤1名の雇用を目指し、運営体制の強化を図っていく。

(4) ピアサポート支援事業(派遣)

派遣事業の受入れ期間が短い機関の中でも依頼の目的に「傾聴と寄り添いと共感」が共通にあげられている。第三のポジションとしてより1人1人のピアサポーターが派遣の目的をしっかりと踏まえ、ピアサポート活動の振り返りと実践が出来るよう支援する。

(5) 「生活訓練事業所くらしきピアぽーと」に関する計画

地域生活を営む上で、生活能力の維持向上等のため食生活や金銭管理など一定の支援が必要な方を対象として（契約者25名程）一日平均12名以上が通所できる環境を整備する。また、サロンと差別化することで、サロンから自立訓練、その先へと切れ目のないサービスモデルの確立を目指す。

2 事業の計画に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 人数	支出額 (千円)
作業所の運営に関する事業	つどいの杜 まりもの運営	平成31年 4月～令和2 年3月	倉敷市	6名	延利用人員 約1,700名	7,462
相談支援に関する事業	相談支援事業所（相談支援事業所ゆうほどう）の運営	平成31年 4月～令和2 年3月	倉敷市	3名	サービス 利用者 約65名	4,152
グループホームに関する事業	グループホーム（グループホーム杜の灯り）の運営に関する事業	平成31年 4月～令和2 年3月	倉敷市	9～10名	11～12名	17,446
ピアサポート支援事業	ピアサポーター派遣 ・住みよい街づくりのための交流会（精神科病院等との交流会）	平成31年 4月～令和2 年3月	岡山県内	7名 登録ピア サポーター 16名	当事者 地域住民 関係機関 約1,500名	988
その他この法人の目的の達成のために必要な事業 (自立訓練（生活訓練）事業)	その他この法人の目的の達成のために必要な活動 (生活訓練事業所くらしきピアぽーとの運営)	平成31年 4月～令和2 年3月	倉敷市	6名	サービス利 用者 約30名	14,040